

# チャンス・チャレンジ・チェンジ

秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝

## 通級指導教室の課題

### 「通級指導教室で学習したことが定着するポイント」

#### 1 的確な実態把握と具体的な目標を設定する

- ・指導のスタートは丁寧な実態把握である。保護者や担任からの聞き取り、各種検査やチェックリストの結果に加えて、在籍学級の様子も観察する。

#### 2 通級と日常生活場面とで同じ支援（手がかり）を導入する

- ・気持ちが不安定になったときに「大丈夫、大丈夫」とおまじないを唱える、ミサンガに触って落ち着くなど、通常の学級や家庭でも活用できる方法を取り入れる。

#### 3 学習したことが日常場面で表れたら、すぐほめる

- ・強化するために有効な時間は「60秒以内」といわれているので、在籍学級の担任や保護者と目標や支援内容・方法の共有化が大切となる。

#### 4 学習した行動に近い行動もほめる

- ・「ちょうだい」の自発語→「ちょ」「いー」でも言えたら、すぐにほめる。

#### 5 日常生活で想定される多様な事例を指導する

- ・勝負に負けたとき、友達に嫌なことを言われたとき、予定変更になったときなど、不安定になったときの対応について、繰り返し練習をする。

#### 6 異なる指導者、多様な場面で指導する

- ・個別で成功体験を重ねた後、指導者を変える、小集団で行う、通常の学級や家庭で学んだスキルが実践できる場면을意図的に設定してする。

#### 7 支援、手がかり、賞賛を少しずつ減らす

- ・支援は、子どものできるところを伸ばしながら、計画的・段階的にフェイドアウトする。子どもに「自分でできた！」を実感させる。

通級指導教室の担当者は、担当する子どもへの指導はもとより、小・中学校への支援、保護者への支援、関係機関との連絡調整、地域への情報発信等、地域の特別支援教育推進の核としての役割が求められている。通級指導教室での効果的な指導が、通常の学級にも反映され、みんなが分かる授業づくりや評価の改善につながることを期待したい。

## 市町村の支援体制情報

### 〈5歳児相談会〉

- ・5歳児健診・相談が、横手市、大館市、東成瀬村、八峰町などで実施されている。今年度から能代市と鹿角市も予定している。早期からの相談体制の整備は、子どもの成長を確認するとともに、家族の子育ての悩みや不安を解消する機会となる。すべての市町村で実施することを期待したい。

### 〈就学や教育に関する相談会〉

- ・県と市町村が共催で実施している「就学や教育に関する相談会」を、今年度から美郷町が新たに実施する。大館市は市単独で年5回計画している。県と共催から、各市町村が主催する相談会に変わっていくことが望まれる。